

令和5年度 第1回 日進市食育推進委員会 会議録

日 時 令和5年7月4日(火) 午前9時30分から11時45分まで  
 場 所 JA あいち尾東中部ライスセンター内 事務所2階会議室  
 出 席 者 安達 内美子、三宅 龍之介、朝井 基晶、吉川 智美、村瀬 幸代、岩本 直美  
 森田 美佳、久野 理加、鈴木 正寿  
 欠 席 者 植木 佳代  
 事 務 局 農政課 課長 村瀬 厚、課長補佐 岡田 剛、主事 増田 成美

【関係部署(説明のために出席した職員の職氏名)】

健康課 管理栄養士 出雲 絵梨奈  
 こども課 総括管理栄養士 木村 文香  
 学校教育課 学校教育指導員 松原 健  
 学校給食課 栄養教諭 加藤 三穂子

傍聴の可否 可

傍聴の有無 無

公開・非公開の状況 公開

- 次 第
- 1 あいさつ
  - 2 副会長の選任について
  - 3 議題
    - (1) 令和4年度事業実績報告について
    - (2) 令和5年度事業計画について
    - (3) 食育啓発用品の作成について
  - 4 意見交換
 

委員の食育活動紹介・情報共有等
  - 5 その他

- 配布資料
- ・次第、名簿
  - ・令和4年度実施事業一覧
  - ・令和5年度事業予定一覧
  - (参考資料)
  - 第3次日進市食育推進計画 基本目標・基本方針・目標値指標一覧
  - 第3次日進市食育推進計画 目標値指標対応事業数一覧

発言者	内容(要旨)
事務局	・開会(午前9時30分)
事務局	本日は委員10名のうち9名が参加いただいております。出席の委員が半数以上となっておりますので会議が成立しますことを報告します。 それでは、会長より挨拶をお願いします。
農政課長	(あいさつ)
事務局	ありがとうございました。それでは、次第2の副会長の選任について、副会長は会長が指名することになっておりますので会長の安達委員から指名をお願いします。

発言者	内容（要旨）
会長	農業事情に精通しているあいち尾東農協（以下「農協」）の三宅委員でお願いいたします。
事務局	ありがとうございます。副会長は三宅委員にお願いします。 （副会長配置換え） では、安達会長に議事の進行をお願いします。
会長	議案に入る前に、本日の会議の傍聴の申出はありますか。
事務局	ございません。
会長	それでは次第に沿って進めていきたいと思えます。 次第 3 議題(1)令和 4 年度事業実績報告について事務局より説明をお願いします。
事務局	（事務局及び関係部署より抜粋して説明。） ※農政課、健康課、こども課、学校給食課、名古屋学芸大学、農協の順
会長	ありがとうございます。ただいまの説明について何かご意見やご質問などはありますか。
委員	（質問なし）
会長	ではご質問がないようでしたら、続いて次第 3 議題 (2) の令和 5 年度事業計画について事務局より説明をお願いします。
委員	（事務局及び関係部署より抜粋して説明。） ※農政課、健康課、こども課、学校給食課、名古屋学芸大学、農協の順
会長	ありがとうございます。 それでは議題 3(2)について、ご意見やご質問はありますか。 令和 5 年はコロナウイルスの影響で事業が中止になるようなことはあるのでしょうか。
事務局	行政側では、感染者が増えているという情報は聞きますが、基本的にはコロナ前の状況に戻る予定です。 例えば、11 月に市民まつりが開催される予定ですが、令和元年度以来の通常開催になる予定です。 市役所の駐車場で行われる産業まつりでは農協や農政課などが出店し、他のまつりも同じ日に開催される予定です。 各関係団体で出店したい等ありましたらご相談ください。
会長	名古屋学芸大学が出店するとしたら、教職課程の学生等が該当してくると思えます。 では、ご質問がないようでしたら、続いて次第 3(3)食育啓発用品の作成について事務局より説明をお願いします。
事務局	学校給食における地場産物の使用量向上を目指すため、地場産物等活用の促進に係るリーフレットを作成予定です。 リーフレットのデザインは名古屋学芸大学メディア造形学部デザイン学科に依頼する予定です。

発言者	内容（要旨）
	10月19日に学校給食で「日進市を食べる日」として新たな特産を目指すイチジクジャムを使用したカップケーキが提供される予定です。 全児童・生徒が所持しているタブレットでデータを一斉配信するほか、にっしんお知らせメールや市HPでもデータを掲載予定です。
会長	リーフレットは紙媒体ではなくデータだけなのでしょうか。
事務局	データだけの予定で、紙媒体が良いということであれば、農政課で印刷することは可能です。
学校給食課	コドモンという保護者向けアプリでデータ配信をする予定です。
事務局	「日進市を食べる日」が10月19日になった経緯を教えてください。
学校給食課	10月、11月が作物が取れる時期であることから10月になりました。 農協に確実に使用できる野菜の量を教えてもらえると、市内産の野菜を使用して給食を提供することができます。 給食については、愛知県産を推奨しているため愛知県産と市内産の野菜を提供しています。
会長	リーフレットの内容は1日だけのための内容にするのか、年中使用できる内容にするのかどちらでしょうか。
事務局	「日進市を食べる日」を皮切りに、旬の野菜がいつとれるのか、旬の野菜を使用したメニューなど様々な内容を紹介していければ良いと考えています。
会長	最終的に、日進産の資料になるような冊子になれば良いと思いました。
事務局	地産地消を推進していく中で、学校給食で地元の物を使用してもらうのは非常に大きい役割を果たしていて、子供たちが給食を食べたいと思ってもらう、農家も作物を作る、その野菜を給食センターが使用するという循環の一役を担うリーフレットになれば良いと思います。
会長	学校で食べて、子供たちが親しみを持ち、家庭や地域にも広がっていくとよいと思います。
農協	農協としても、農家の所得向上や農家が作業している姿を若い世代にも知ってもらいたいです。事前に給食で使用する野菜がわかっているならば、農家が収穫している姿や野菜がどのようにできているのかを動画撮影して配信すると、給食で出た野菜だけで終わらず、野菜のでき方や収穫の仕方などを知ることができ、家族との会話につながったり、自分で作ってみたいと思ったり、より興味を持ってもらえるのではないかと思います。
委員	10月19日の「日進市を食べる日」は、国でその日が決まっているのでしょうか。
学校給食課	日進市として10月19日に設定しており、食育推進の一環として地産地消を進めていくうえで、年度初めに計画を立てるときに6月の食育月間、10月、1月の学校給食週間の年3回食育推進のための計画を作成しています。
委員	農家の立場から話をすると、10月は夏野菜が終了し、冬野菜もまだできておらず作物がない時期のため、最盛期の8月や9月だといろいろな種類の野菜が出るのではないかと思います。

発言者	内容（要旨）
学校給食課	来年度への課題として、11月ということも検討しております。長久手市では11月に設定しており、東郷町では10月は盛り上がり欠けるということで月をずらすことも検討しているようです。
委員	この地域が温暖な地域で、野菜を収穫できる時期がずれることがあります。地域によって旬の時期に差があるため、それも配信できるといいと思います。
事務局	今年は11月19日に農畜産物共進会という野菜の品評会があり、品評会を目指して野菜の栽培を行うため、11月の中旬から下旬にかけて野菜の量が多くなります。
委員	農家からデータをもらって、いつ何ができるかをデータベース化してもらえると地元産の野菜をより使いやすくなると思います。
農協	産直センターがあるため、何月にどの野菜が一番出荷しているのか、売上ランキングを出品数で出すことができると思うため、農協の広報やインスタグラム、組合員向けの雑誌等で掲載していけるよう検討します。 1年間の日進市産の主要品目という形で情報を窓口で提供することはできると思います。
委員	園芸センターは日進産だけでなく、他の地域からも出てきており、どれが日進産なのかがよくわからないため、どこで作られているかがわかるようになるとういと思います。
委員	学校給食でイチジクジャムを使用したカップケーキを提供するというのですが、日進市にイチジクのイメージがありません。
事務局	イチジクは新たな特産を目指していきます。現在は、2軒の農家がイチジクの栽培をしているのと、イチジク栽培を行いながらイチジクの加工場と飲食店を市内で建築予定の人がいます。イチジクは日進の気候にも栽培に適しているため、栽培農家を増やしていけるようにします。
委員	地図上で、市のどこで栽培しているのがわかるようにできれば、近くを通りかかった際に子供から親にここで何を栽培しているということを教えることができ、会話になると思います。 また、毎年積み重ねていくのであれば、「日進を食べる日」を年ごとにずらしていくと、季節の旬がわかっていいと思います。
会長	できれば、にっしんおいしいお宝マップに加えていくと良いと思います。
事務局	にっしんおいしいお宝マップは名古屋学芸大学の安達委員のゼミの学生と一緒に作成し、市内の農家や伝承料理を継承している団体などを紹介して、実際にその場所などに行くことを促す教材になっています。
会長	続きまして、4意見交換について各委員の活動紹介や情報共有をお願いします。朝井委員からお願いします。
委員	日進産のこはるもちを使用した赤飯などを作っています。今年に入ってから、農政課にこはるもちのシールを作成していただき商品に貼って売り出しています。こはるもちの認知度は現在低いため、認知度を上げるためにどの店舗でも使用できる共通のデザインのものが良いと思い提案して作ってもらいました。

発言者	内容（要旨）
	<p>農協でも日進産の野菜に「にっしんそだち」シールを貼って販売していると思いますが、それも地産地消になっていると思います。</p> <p>イチジクカップケーキについても、日進産のイチジクカップケーキという大枠を作ってもらい、レシピは各店舗に任せて作ってもらうと、色々なお店独自のものが食べられるので楽しみが増えると思います。</p> <p>商工会で日進をPRできるイベントなどができないかと話をしていましたが、大枠のルールを決めることで、日進のものとして名乗れて、販売するものに関しては各店舗独自のものでいいのではないかと話が出ていました。</p>
委員	<p>それに合わせて仕入れのルートなどもわかると良いと思います。</p> <p>共通して購入できるルートがあると、店側としてもやりやすいです。</p> <p>デザートに限らず、日進産の農産物を使用したものが市としてできると良いと思います。</p>
事務局	<p>日進市では葡萄やいちごがありますが、物量が多くないためなかなか難しいところがあります。</p> <p>さつまいもについては、日進市内で栽培されている農家が多いため、各店舗でさつまいもを使用したスイーツや料理の提供をしてもらい、さつまいも祭りのようなことはできると思います。</p>
委員	<p>米粉や餅粉などがあれば、パン屋やケーキ屋などは使いやすいと思います。</p>
会長	<p>こはるもちは粒が大きいのが特徴なのに、粉にしまうと特徴が無くなってしまわないでしょうか。</p>
事務局	<p>最近はおもち米を普段食べないということ、加工してこはるもちの周知をしながら販売していかなければならない中で、大粒で粘りが強い特徴を伝えていくことがなかなか難しい状況があるため、餅粉のニーズがあるのであれば、餅粉で提供していくことも必要だと思います。</p>
委員	<p>こはるもちの性質状、硬化が早いので大福などには向かないと思います。</p> <p>おこしものなども製菓用のものを使用していますが、味が変わったり固くなるのが早いと嫌われる傾向にあるため、原料の特性を理解しながら使用していく必要があります。</p> <p>粉にしたとしても、こはるもちの粘りが強い特徴は引き継ぐと思うので粉にしたからと言って必ずしも使いやすくなるとは限らないと思います。</p>
事務局	<p>和菓子屋に営業に行くと、既存の商品にはファンがついているため既存の商品に新しいもち米を使用するのは難しく、新商品に「こはるもち」を使用して売り出していく必要があると言われます。</p> <p>現在こはるもちのシールを貼っていただいているのが榎屋製菓舗さんだけです。今後は市内の他の和菓子店にも貼っていただけるようにしていく予定です。</p>
会長	<p>商品特性は大事だと思います。中山間地で作られている「やわこいもち」という硬化が遅い特徴がある餅を食べたことがあります。もち米の特性について認知してもらうことが必要です。サツマイモについては、名古屋市北区でホクホク祭</p>

発言者	内容（要旨）
	<p>りをやっているようですので、参考にしてください。 続きまして、吉川委員お願いします。</p>
委員	<p>学校のPTAでは、3年生と5年生を対象に年2回管理栄養士に食育指導をしていただいています。</p> <p>朝食の大切さや、栄養素を色分けしてわかりやすく説明していただいたり、一週間分の食事を紙に記入して管理栄養士に提出してアドバイスをいただいたり、実生活に根付く形で指導していただいています。</p> <p>PTAでは、6月に3年ぶりに給食の試食会を開催しました。給食の味を家庭で食べられるように人気メニューのレシピをまとめたものをいただきました。</p> <p>梨ノ木小学校としては学習園と学習林で4月にタケノコ掘り、6月にじゃがいもと玉ねぎの収穫体験を行いました。</p> <p>PTAと家庭教育推進委員や農家にも参加していただき、生産者の話を聞きながら体験を行うことの大切さを改めて感じました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。続いて村瀬委員お願いします。</p>
委員	<p>相野山家庭教育推進委員会では、毎年5月にこはるもちの田植えをしています。地産地消を意識して買い物をしてメニューを作ったり、食事の際や友人などにも食育を推進してもらえよう伝えていきます。</p> <p>6月19日に「あいちを食べる学校給食の日」があり、米粉のパンなどが好評でした。6月の食育月間や毎月19日が食育の日ということを知って子供たちが理解を深める機会があれば良いと思いました。</p> <p>また、日進市でとれる野菜の紹介が学校給食のメニューに載っています。</p> <p>提案ですが、農協の栽培講習会の出前講座は、小学校に行ってから栽培の講習をしていると思いますが、時間があれば日進産の野菜のクイズなどを取り入れて子供たちにわかりやすく説明できるようになるといいと思います。</p> <p>動画配信も良いと思いましたが、朝会も今はzoomでの配信のため、朝会の少し前に時間を作って、農家とリアルタイムで動画配信出来ればより良いのではないかと思います。10月19日もzoomで農家と話ができれば良いと思います。</p> <p>コロナが5類に移行してから黙食も緩和されてきているため、可能な限り生産者である農家や農協の職員、給食メニューの考案者と子供たちが一緒に給食を食べる機会があれば、感謝の気持ちの芽生えや食育にもつながるのではないかと思います。</p>
会長	<p>こはるもちを栽培した後は収穫したものを配るのでしょうか。</p>
委員	<p>参加した家庭に少しだけ提供しています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。続いて岩本委員お願いします。</p>
委員	<p>某大学の資料で、1世帯当たりの年間のパン類・米・麺類の消費の金額の表がありますが、半分以上がパン類になっています。</p> <p>金額ベースで言うとパンのほうが1個当たりの単価が高くなることもありますが、農家としては米で経済が回っていくことを望むのと、パンは材料などを含めると輸入していることがほとんどなため、自給的なことで考えると危惧されるこ</p>

発言者	内容（要旨）
	<p>とだと思いました。</p> <p>以前、韓国に行った際におにぎりのファストフード店があったのですが、そういった工夫をすることで米を食べるとい文化を守っていくことができないのかなと考えています。</p> <p>食育的な立場での活動は、秋に未就学児を対象にさつまいも掘りを予定しています。</p>
事務局	<p>日進の農地の大部分が水田で、日進の農業を守っていくこと、地産地消で日進の米を食べてもらう、栽培された米を評価していただいて購入してもらうという循環を作ると健康面でも良いことだと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。続いて森田委員お願いします。</p>
委員	<p>子育て支援をしている団体で、離乳食の講座等を行っています。まだ試食は再開していませんが、今後再開していきたいと思っています。</p> <p>コロナ禍では子供たちは公園でお弁当を食べるといった経験はできなかったようですが、5類に引き下げられてからは仲の良い友人と公園で食べることが増えてきたという話を聞きます。</p> <p>離乳食はおかゆから始めますが、なかなか食べないとずっとおかゆのまま食べさせる場合が多いのと、味も薄味のままで2歳から3歳までほとんど調味料を使用しない場合もあります。情報網が発達している中で、横のつながりないと他の家庭の状況を把握できず前に進めないように感じます。</p> <p>様々なイベントを通して横のつながりができるようになると良いと思います。</p> <p>リーフレットの話をする、名古屋学芸大学の学生に子育て支援のリーフレットを作成していただきましたが、すべてQRコードを読み取ると様々な情報を得ることができるようになっていてとてもシンプルなものでした。</p> <p>イチジクのリーフレットにも、どこで買えるのか、どこで生産しているということがわかるようなQRコードがあると良いと思います。</p>
会長	<p>学生が作成したリーフレットを見ましたが、とてもシンプルなものでした。</p> <p>ありがとうございます。続いて、久野委員お願いします。</p>
委員	<p>昨年度は後半のみ料理教室を行い、今年の募集は7月3日から始まりしました。</p> <p>7月の後半に親子料理教室、子供対象が2件、成人対象が2件、保健センターでの料理教室や健康福祉フェスティバルなどがある予定です。</p> <p>今年度新しく、名古屋学芸大学の小学生対象の子供の料理教室に見守りがメインで参加しており4週1クール、年2回開催します。</p> <p>1回目は手伝いたいけど手伝えないもどかしさがあったようです。</p>
会長	<p>ありがとうございます。続いて鈴木委員お願いします。</p>
委員	<p>東京でケーキ屋に勤めていた時に小学校で食育の授業を行っていました。例えば卵は鶏の卵だということはわかるけどどのようにして生まれるのか、野菜もどのようにできるのかという食材の根本的なところから説明をした後に、卵、牛乳、砂糖のみでプリンを作る体験をしていました。その後、市販のプリンと食べ比べをして、成分表示を見ながら食べるという授業をしていました。</p>

発言者	内容（要旨）
	<p>日進に来てからは、中学生を対象に職場体験を行う中で、1日目は作りそれを持ち帰って食べた感想を次の日に発表することや、様々な食材を食べ比べするなどの体験を行っていました。コロナ禍では職場体験ができなかったため、子供達が体験できる環境を作ってあげたいと思いますが、1人だとなかなかできない現状があります。</p> <p>自分の子供が0歳と3歳で保育園と幼稚園に通わせていますが、幼稚園では食育の授業をどうしたら良いかわからないとのことだったので、連携ができていくと良いと思います。</p> <p>世界的に気象が変化していたり、戦争の影響で食材が入ってこないことが増えてきているため、国産や地元産に今一度目を向けることが必要なのではないかと思っています。</p> <p>いずれは、小学校と連携をとって食育の活動を広げていければ良いと思いますが、各小学校で活動に差が出てしまうのが気になっています。</p>
事務局	差ができるのは、地域の特性があって良いのではないかと思います。
学校教育課	学校によって1学年のクラス数に差があり、1クラスずつ行うのか2クラスまとめて行うのかによっても差が出てくるため、学校によって差が出てしまうのはやむを得ないことだと思います。
委員	前回の食育推進委員会で、緑区の小学校で食育クラブがあり、国から補助が出てできているという話を聞いた後に考えたのが、国からの補助が出れば先生方が取り組んでくれるのであれば、日進市の教育委員会から各学校に食育クラブを作ることをお願いすれば各学校に食育クラブができて、講師などを受け入れることができるようになるのではないかと思います。
学校教育課	文部科学省が授業を増やしている関係でクラブ活動は現在年間3回程度になっていて、朝の学活の時間も授業の一部として取らないと指導要領がこなせない状況になっています。教員は、新たなカリキュラムが詰め込まれ、その準備などにも時間を取られてしまい余裕がない状況です。さらには、勤務時間が制限されるため、学校の中で完結できれば良いという話ですが、できれば学校の教員ができるだけ関わらない取組みとしてもらえたら良いと思います。
事務局	児童クラブや学童で行うのはどうですか。
学校教育課	クラブを作ったとしても、年に2回から3回程度しかできないですし、部活も廃止の方向に進んでいるので新たに作るのは現実的ではないと思います。
委員	賞を取った緑区の小学校は授業の中に組み込まれているのでしょうか。
学校教育課	緑区の小学校は、文部科学省から言われてやらざるを得なくなり、普段の仕事に加えて食育の活動も行っていたのだと思います。
委員	PTAのイベントの中で、農家等呼んで体験や話を聞くことができれば良いと思います。
学校教育課	PTAと家庭教育推進委員会が連携をとって行ってもらえると良いと思います。
事務局	PTAと家庭教育推進委員会の活動に食育の活動を組み込んでいけると良いと思います。

発言者	内容（要旨）
会長	<p>ありがとうございます。            続いてその他について何かありますでしょうか。</p>
事務局	<p>7月9日（金）にマルシェが開催されますので是非ご参加ください。            次回の食育推進委員会は2月頃に予定しております。</p>
会長	<p>以上ですべての項目が終わりましたので、進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。以上をもちまして、令和5年度第1回日進市食育推進委員会を終了させていただきます。本日はお疲れ様でした。ありがとうございました。</p>
	<p>閉会（午前11時45分）</p>